

授業科目 身体障害作業療法評価学

【担当教員名】 泉 良太、岩波 潤		対象学年	2	対象学科	作業				
		開講時期	前期	必修選択	必修				
		単位数	2	時間数	30				
【ディプロマポリシーとの関連性】									
知識・理解		思考・判断		関心・意欲					
◎		◎		◎					
【概要・一般目標：G10】 身体障害領域における作業療法評価を実施するために、各検査の基本的な知識・技術を修得する。									
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 身体障害領域における作業療法評価について説明できる。 2. 各検査の意義と方法について列挙できる。 3. 疾患に応じて適切な検査を選択できる。 4. 作業療法の評価計画を立てることができる。 5. 作業療法の対象となる人や障害に関心を持つことができる。 6. 一般的な礼節を身につける。 7. 予習・復習を実施し積極的に授業に参加する。 8. 検査を繰り返し練習し熟練する。 9. 評価結果を統合解釈し病態を的確に分析することができる。									
回数	授業計画・学習の主題				SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員			
1	身体障害領域における作業療法評価総論（記録・報告含む）				1-7	講義、担当：泉 良太			
2	面接法・観察法（情報収集含む）				1-9	講義・実習、担当：泉 良太			
3	触診方法・形態計測				1-9	講義・実習、担当：泉 良太			
4	触診方法・形態計測				1-9	講義・実習、担当：泉 良太			
5	意識の評価・バイタルサインの測定				1-9	講義・実習、担当：岩波 潤			
6	意識の評価・バイタルサインの測定				1-9	講義・実習、担当：岩波 潤			
7	脳神経検査				1-9	講義・実習、担当：泉 良太			
8	脳神経検査				1-9	講義・実習、担当：泉 良太			
9	反射検査				1-9	講義・実習、担当：泉 良太			
10	反射検査				1-9	講義・実習、担当：泉 良太			
11	感覚検査				1-9	講義・実習、担当：岩波 潤			
12	感覚検査				1-9	講義・実習、担当：岩波 潤			
13	臨床検査値の読み方				1-7	講義、担当：泉 良太			
14	検査の統合と解釈				1-9	講義・実習、担当：泉 良太			
15	まとめ				1-9	講義・実習（泉・岩波）			
【使用図書】		＜書名＞		＜著者名＞		＜発行所＞		＜発行年・価格 他＞	
教科書 （必ず購入する書籍）		作業療法評価学 第2版		岩崎 テル子 他		医学書院		2011・5,800 円＋税	
		ベッドサイドの神経の診かた 改訂 17 版		田崎 義昭 他		南山堂		2010・7,200 円＋税	
参考書		神経局在診断 改訂第5版		Peter Duus 他		文光堂		2010・10,000 円＋税	
		分担解剖学		森 於菟 他		金原出版		1982・9,300 円	
その他の資料		プリント							
【評価方法】 授業態度（2割程度）、実技試験（4割程度）、 定期試験（4割程度）				【履修上の留意点】 受講にあたり、骨・筋・神経系を中心とした解剖生理学的知識が要求される。 骨・筋を確認しながら検査を実施するため、半袖・半ズボンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること。					